

鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要 ~人口減少の流れを転換し、地域を再興するための指針（素案）

鶴岡市の人口の現状

- ・自然動態は、死亡者数の増加と出生数の減少が同時進行。マイナス幅も拡大
- ・出生数の低下。年間1000人を割り込む
- ・高齢化の進行 平成52年推計40.2%
- ・社会動態は、一貫して転出超過。年間500人程度
- ・16~25歳の転出超過が突出。転出は年間600人
- ・出産適齢女性人口の低下 この30年間で35%減
- ・晩婚化、未婚化の進行 婚姻数10年前と比較して2割減少。平均初婚年齢も男女とも一貫して上昇
- ・未婚割合の上昇

戦略の構成

- ・【位置づけ】
- ・総合計画との一体性、整合性を確保しつつ、人口減少の克服及び国の地方創生政策に対応する施策分野に特化した総合的政策パッケージとする。
- ・【重視する視点】
- ・①人口減少の克服対策に直接効果を上げる施策に特化した戦略
- ・②国の地方創生戦略支援策の積極的活用
- ・③施策のスクラップ&ビルド
- ・④広く民間からの提案を募る
- ・【計画期間】
- ・平成26年度から平成30年度までの5年間
- ・【計画人口】
- ・今後の策定する人口ビジョンや県の動向も踏まえて設定

重点目標

人口流出、晩婚・非婚化、少子化の負のスパイラルを転換し、改めて地域の強み、優位性を活かした付加価値の高い地域産業・しごとづくりに取り組み、若者がここで活躍したい、ここで暮らしたいと思うような活力にあふれた強い地域経済の実現を目指す。

重点施策

- ユネスコ食文化創造都市の高度ブランド化による観光、農業等の成長産業化
- 次世代イノベーション都市の創造・発信による地域活性化

